

# 日本大学理工学部(1)卒研・修論中間報告会鬼怒川

日本大学中田研究室、ものつくり大学大塚研究室の合同卒業研究中間発表会が鬼怒川温泉で開催された。関係教員、研究室出身有志、3年次ゼミ生も出席し活発な討論が行われた。報告会の懇親会では、学生の思いがけない「Only One」を見ることができた。日光には明治6年創業の金谷ホテルがある。スケートリンクを望む竜宮では創業当時の貴重な写真を見ることができる。



参加者



報告会



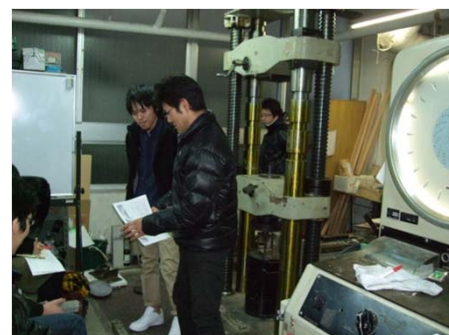
日光金谷ホテル

# 日本大学理工学部(2)強度コンテスト

日本大学中田研究室3年次ゼミ生の強度コンテストが開催された。鉄筋コンクリート梁を模擬したモルタル試験体のひび割れ耐力と終局耐力の差について争われた。お父さんのマッサージ器でモルタルを締固めた将軍チームがわずかの差で準優勝であったことが残念であった。終了後に行われた懇親会では、中田おばさんの手作りのおでんを囲んで、就職や企業の現況について学生とOBとの情報交換が活発に行われた。



日本大学理工学部1号館



強度コンテスト



将軍チーム



懇親会・OB交流会

日本大学中田研究室とものつくり大学大塚研究室の2011年度卒業研究テーマ検討会がものつくり大学で開催された。冒頭、中田教授から「OBを含む企業の方々に参画していただき実用性の高い研究を積極的に進めたい」との挨拶があった。恒例のB. Qパーティーが行われ学生、OBの情報交換が積極的に行われた。東日本大震災で被災された元教員の支援のためにもものつくり大学の学生、OBが陸前高田に向けて出発した。今後の日本の復興に向けて若者の力に期待したい。



ものつくり大学



中田教授の挨拶



テーマ検討会



B. Qパーティー



陸前高田被災支援隊

## 日本大学工学部(4)卒研計画報告会(草津温泉)

日本大学中田研究室とものつくり大学大塚研究室の2011年度卒業研究計画報告会が6月11日－13日に草津グリーンパレスで開催された。近くの吾妻渓谷、八ツ場ダム建設現場、そして草津温泉から流れるpH2の湯川中和施設を散策して報告会に臨んだ。今回は、学生の報告の後、指導教員、OBからの報告もあり充実した報告会となった。最後に、夏季における東日本大震災の支援計画を審議し、「一定のめど」が得られたのでいさぎよく散会した。



草津グリーンパレスにおける計画発表



中和施設の石灰ミルク投入箇所



吾妻渓谷



吾妻川に架かる鋼・コンクリート複合橋

## 日本大学理工学部(5)陸前高田ボランティア

日本大学（中田研究室、秦研究室）ものづくり大学（大塚研究室）日本建築専門学校（武村研究室）の総勢31名による陸前高田市の合同ボランティア活動が開催された。陸前高田市の災害ボランティア住田基地の元小学校体育館に宿泊した。脇之沢地区において道路側溝の土砂除去を行った。側溝にはホタテ貝殻の混入した土砂が一杯になっており、35℃という猛暑の中の過酷な作業であった。それでも何とか100m程度に亘って約40m<sup>3</sup>の土砂を除去することができた。新設の電柱が側溝の流れを阻害していることを後で知り複雑な心境である。元教員の指導で仮設住宅のこだわりの掲示板をつくるOBの満足そうな姿とのギャップを感じさせられた。脇之沢駅も跡形なく流され、漁港も壊滅状態である。復興もほど遠い状況で、人間の小ささだけを思い知らさせられた。



陸前高田ボランティア住田基地

陸前高田市街



仮設住宅のこだわり掲示板づくり



道路側溝の土砂除去



## 日本大学理工学部(6)卒業研究中間発表合宿(群馬猿ヶ京温泉)

日本大学中田研究室、ものづくり大学大塚研究室の卒業研究中間発表会が群馬県の猿ヶ京温泉旅館で開催された。この地名は、上杉謙信が宿を取ったところで、謙信の干支にちなんで名づけられたといわれているが定かではない。発表会の前日は、3年次ゼミ生、研究室OBも参加して質素な精進料理を囲んで懇親会が開催された。3年次生は、就職活動が解禁されたこともあり、先輩を囲んで会社や大学院進学の情報を熱心に聞き入っていた。多様な目標を持っていることも結構であるが、どのような場面に遭遇しても最大限の努力を惜しまない心がけが必要である。発表会では、2月の提出を目標に適切に進捗していることが確信された。一方、提出期限を全く無視している発表もあったが、まだまだ長い人生が残されている若者の余裕だろうか？日本の経済社会にもこのような余裕が必要なかもしれない。



質素な精進料理を囲んでの懇親会



卒業研究中間発表会

